

## 第31回 炉内構造物等点検評価ガイドライン検討会 議事概要

1. 日 時：平成19年8月7日(火) 13:30～17:20
2. 場 所：日本原電本店第2・3会議室(神田美土代ビル)
3. 出席者(順不同 敬称略)：

委員：野本委員長(東大名誉教授)，関村副委員長(東大)，安藤(博)委員，安藤(柱)委員(横国大)，橋爪委員(東北大)，班目委員(東大)，坂下幹事(東電)，吉田幹事(関電)，堂崎幹事(原電)，笹田委員代理(北海道電)，中川委員代理(東電)，黒崎委員代理(東電)，肥田委員(中部電)，高橋委員代理(北陸電)，野村委員(関電)，頼木委員代理(四国電)，三隅委員代理(九州電)，青木委員・師尾委員(原電)，鞍本委員(電発)，小山委員(三菱重)，伊東委員(日立GE)，松永委員代理(東芝)，杉江委員(原技協)

参加者：山本(JNES)，岡田(東電)，進藤(中部電)，木村(関電)，米澤(原電)，佐藤・鬼塚・中野(三菱重)，田中・馬淵(日立GE)，松永(東芝)

事務局：関(原技協)

### 4. 議事概要

- (1) 火原協から原技協への事務局移管に伴う規約変更について、運営規約(案)が承認、制定された。
- (2) 前回議事録確認が確認され、誤記修正後、承認された。委員交代について紹介された。
- (3) 整備工程とガイドラインの発行状況について報告があった。BWR点検評価ガイドライン(炉心シミュラウド・第3版)が火原協より発刊されたこと、また、発行承認待ち案件の説明があった。
- (4) 炉内構造物等補修・予防保全工法ガイドラインについて、個別ガイドラインの上位概念としての補修・予防保全工法を反映した改訂方針と、改訂第3版構成案を審議し、継続検討となった。
- (5) 補修工法ガイドライン[封止溶接工法]について、コメント修正案を審議、検討継続となった。
- (6) 予防保全工法 外面からの入熱による応力改善方法について審議し、継続検討となった。
- (7) 予防保全ピーニング工法について、前回コメント対応他説明があり、継続検討となった。
- (8) PWR点検評価ガイドライン 管台セーフエンド異材継手 について、点検評価フロー、点検時期の考え方、予防保全／補修後の点検の考え方について説明があり、検討継続となった。
- (9) PWR点検評価ガイドライン 炉内計装筒 について、点検時期の検討、予防保全／補修後の点検の考え方について説明があった。
- (10) BWR円筒形状構造物の未点検部位の扱いについて説明があった。次回に纏める方向で準備することとなった。なお本成果は10月の機械学会に発表予定であることが紹介された。
- (11) 今後の活動について、個別ガイドラインとして残された課題、ガイドライン活用のため取り組むべき課題の紹介があった。
- (12) その他、次回検討会の開催日時については、10月頃を目途に別途調整することとした。

以 上